



岐阜県安全・安心まちづくり情報

第8号 (平成23年9月)

「岐阜県安全・安心まちづくり情報」第8号をお届けします！

平素は「安全・安心まちづくり県民運動」にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

(今号の記事内容)

- ・「安全・安心まちづくりリーダー養成講座」を開催しました！
- ・声かけ事案等の発生状況(平成22年1～12月)
- ・地域で活躍のお仲間を紹介します
市橋くらしの安全推進委員会
登龍中校区スクールサポート隊

「安全・安心まちづくりリーダー養成講座」を開講しました！

地域の防犯ボランティア活動を支えるリーダーとなっていただくために、防犯に関する専門知識やノウハウを学んでいただく「安全・安心まちづくりリーダー養成講座」を開催しました。



第1日目 平成23年6月25日

第1時限講義「安全・安心まちづくりについて」

(県環境生活政策課職員)

- ・「まちづくり」としての地域防犯であり、「まちづくり＝地域コミュニティの再生」の一つの手法が防犯である。
- ・地域社会自体に、犯罪を防止する意思と能力を持ってもらえるよう、情報提供や地域の防犯活動への支援を行うことが、「安全・安心まちづくり」として行政が取り組む意義。

第2時限講義「最近の犯罪情勢、住宅等の防犯対策について」(県警生活安全総務課職員)

- ・平成22年の街灯犯罪等の状況の中で、特に振り込め詐欺及び幼児等に対する声かけ事案の状況等について、また、犯罪を抑止するために、犯罪者を遠ざける「時間」、「目」、「音」、「光」による4原則、日頃から近所つきあいを大切にする事の重要性についての説明。
- ・防犯ボランティア活動の活躍が期待されるが、高齢化、資金不足、情報不足、リーダーの不在といった課題がある。

第3時限講義「学校・通学路の安全対策について」(県教委スポーツ健康課職員)

- ・今、学校が行うべきことは、「安全教育」、「安全管理」。「安全教育」で、子どもが身につける資質や能力は、「危険予測能力」、「危険回避能力」、「事故対処能力」であり、これからは「安全管理」との一体化を図って推進していく必要がある。「安全管理」には、「事前の危機管理」による学校への不審者侵入者防止のチェック体制の構築と、「事後の危機管理」による緊急事態発生時の対応がある。

第2日目 平成23年7月23日

第1時限講義「防犯パトロールの方法について」(県警生活安全総務課職員)

- ・ 防犯パトロールは、犯罪を未然に防止するための活動であり、地域住民への声かけ、犯罪等を発見した際の警察への通報すること等である。犯罪が多発している時間帯や場所(地域)を選定し実施するのが有効であるが、大切なことは一人でも多くの地域の人々が参加し、継続的なパトロール活動を実施することである。

第2時限講義「防犯ボランティア団体活動事例から学ぶ」[県内事例]

(恵那市大井町地域防犯パトロール隊事務局長 岩井 慶次 氏)

- ・ 主な活動は、「放課後パトロール」、「夜中まちなかパトロール」、「随時パトロール」、「わんわんパトロール」、「『フレンドリー企業』の募集」、「青色回転灯車によるパトロール」、「夏休み・年末一斉パトロール」、「ぱとまっぷ(安全マップ)の作成」など。
- ・ 今後、地域の防犯力は地域力が決め手となり、家庭・地域・学校・行政・警察の連携が必要である。それらの連携を取る役割を持つ機関(中間支援組織)として、今後も防犯パトロール等を行っていく。

第3時限講義「子どもの安全確保対策について」

(日本子どもの安全教育総合研究所理事長 宮田 美恵子氏)

- ・ 子どもを取り巻く環境は様々な危機があり、大人は安全教育を行っていく役割が求められている。0歳から発達にあった安全教育を行い、家庭教育から生涯学習活動へ連動するサイクルを作り出すことが大切。
- ・ 子どもを犯罪被害等から守るために、心と体に力を付けてあげる。心には、「大切なもの」「大好きな人」がいるという思い。自身の大切さに気付き、愛情やで結ばれた大切な人との絆があれば、危機に向き合った時、それがどうかしよう！という強い動機付けになり、子どもを突き動かす行動の源になる。家庭で、地域で、学校で、子どもに愛情を注いで下さい。

声かけ事案等の発生状況(平成22年1～12月)

声かけ事案等とは、中学生以下の子どもに対して、誘拐、強制わいせつ等の犯罪被害には至りませんが、その前兆としてとらえられる声かけ事案、その他子どもに不安を覚えさせるような言動があったものをいいます。

【特徴】

声かけ事案等の発生件数 165件

- ・ 女子小学生、女子中学生に対するもの 124件(約75%)
- ・ 路上での発生 148件(約90%)
- ・ 下校途中の発生 91件(約55%)
- ・ 午後3時から午後6時の間に多発 119件(約72%)

(出典:岐阜県警察本部統計資料「平成22年度の幼児等に対する声かけ事案等の状況」)



不審者なども出没情報を基にした地域でのパトロールも有効です。
不審者を発見したら110番通報をお願いします。

地域で活躍のお仲間を紹介します！

市橋くらしの安全推進委員会

活動地域：市橋小学校校区（岐阜市）
活動人数：340名（平成23年7月1日現在）
（代表の小川一雄さんにお伺いました。）

【活動を始められたきっかけ】

JR西岐阜駅周辺において犯罪が多発し、治安の悪化が懸念されるようになってきたことから、地域全体で犯罪防止に取り組むこととなった。市橋自治連合会長らが中心となって、ボランティアによる地域安全活動実施の呼びかけに賛同した人々により、平成14年4月、「市橋くらしの安全推進委員会」を結成しました。



【主な活動内容】

1 防犯パトロール

毎週3回、児童の下校時間に合わせて青色回転灯を装備したパトロールカーによる防犯パトロールを実施

夏休み期間中は、夜間に裏通りやゲームセンター、ビデオショップ等のパトロールを実施

2 JR西岐阜駅及び地域内の危険箇所の点検



【活動において工夫している点】

児童の下校時間帯の防犯パトロールに加え、交通量の多い国道等や西岐阜駅、大型商業施設が立ち並ぶといった環境から、犯罪、交通事故の発生が常に心配されるため、防犯パトロールを季節に応じて夜間に行くなど、時間帯を変えながら実施しています。

【今後について】

地域安全活動を行っていくことにより、子ども達がもっと安心して外で遊べるような地域にしていきたいと思います。

防犯パトロール等には終わりがなく、継続していくことが大切であると考えます。

こちらの団体の青色回転灯を装備したパトロールカーによる防犯パトロールは、岐阜市内における先駆け的な存在であり、これらによって、青パトが他の団体へ広がるきっかけとなったようです。

登龍中校区スクールサポート隊

活動地域: 登龍中学校校区
(安八町)

活動人数: 290名

(平成23年7月1日現在)

(名森小学校近藤教頭先生にお話をお伺いしました。)

【活動を始められたきっかけ】

隣接する校区や近隣の校区で不審者の出没が時々あり、PTA会員をはじめとする校区のみなさんの間に、安心・安全な校区をめざして、子ども達を見守るための連携が大切であるという機運が高まり、町の支援を受けながら、平成22年7月に組織化され活動するに至りました。



【主な活動内容】

1 子どもの見守り活動

子ども達の登下校の時間に合わせて、毎日、自宅周辺を見守る

子ども達を始め、出会う人とあいさつを交わし、明るい校区づくりに努力する



【活動において工夫している点】

子どもたちの登下校時間に、自宅周りの草取りや畑仕事をしながら声掛けをしてもらおう等、各個人が自分のライフスタイルに合った無理のない活動をするを、呼びかけている。

【「これから活動を始めたい」という方へ】

地域の区長さんや町当局の理解を得ることは大切なことです。そして、地域の方々の意識を高めていくために、まずは保護者から、そしてその輪を地域へと広げていくことが重要です。

活動により、地域での大人同士あるいは子どもと大人のあいさつが盛んになってきたとのことです。今後も、多くの方々の参加により、活動がさらに活性化していくことを期待します。

安全・安心まちづくり県民運動

「自分の地域の安全は、自分たちで守る」

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課

地域安全室 地域・交通安全担当

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

Tel 058-272-1111(内線2393)

Fax 058-278-2605

e-mail c11260@pref.gifu.lg.jp

